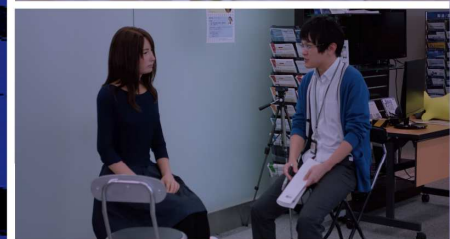
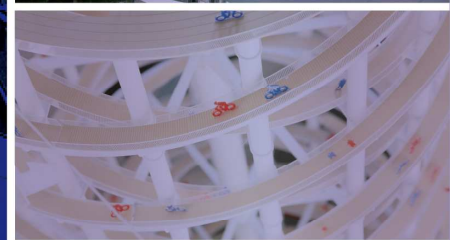


2017年6月期 第1四半期

決算補助資料

2016/11/14



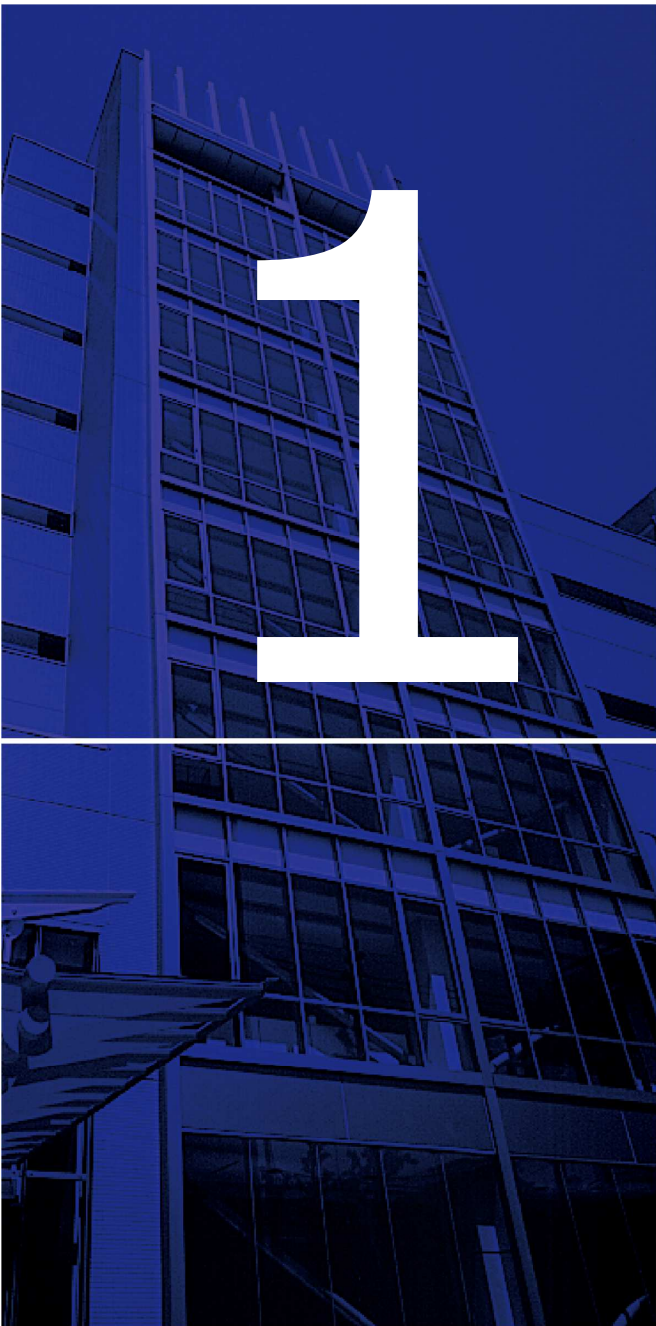


目次

1. 第1四半期の業績について	3
2. セグメント別状況	11
3. 2017年6月期（第59期）の見通し	15

【本資料についてのご注意】

- 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。



第1四半期の業績について

第1四半期決算の概要

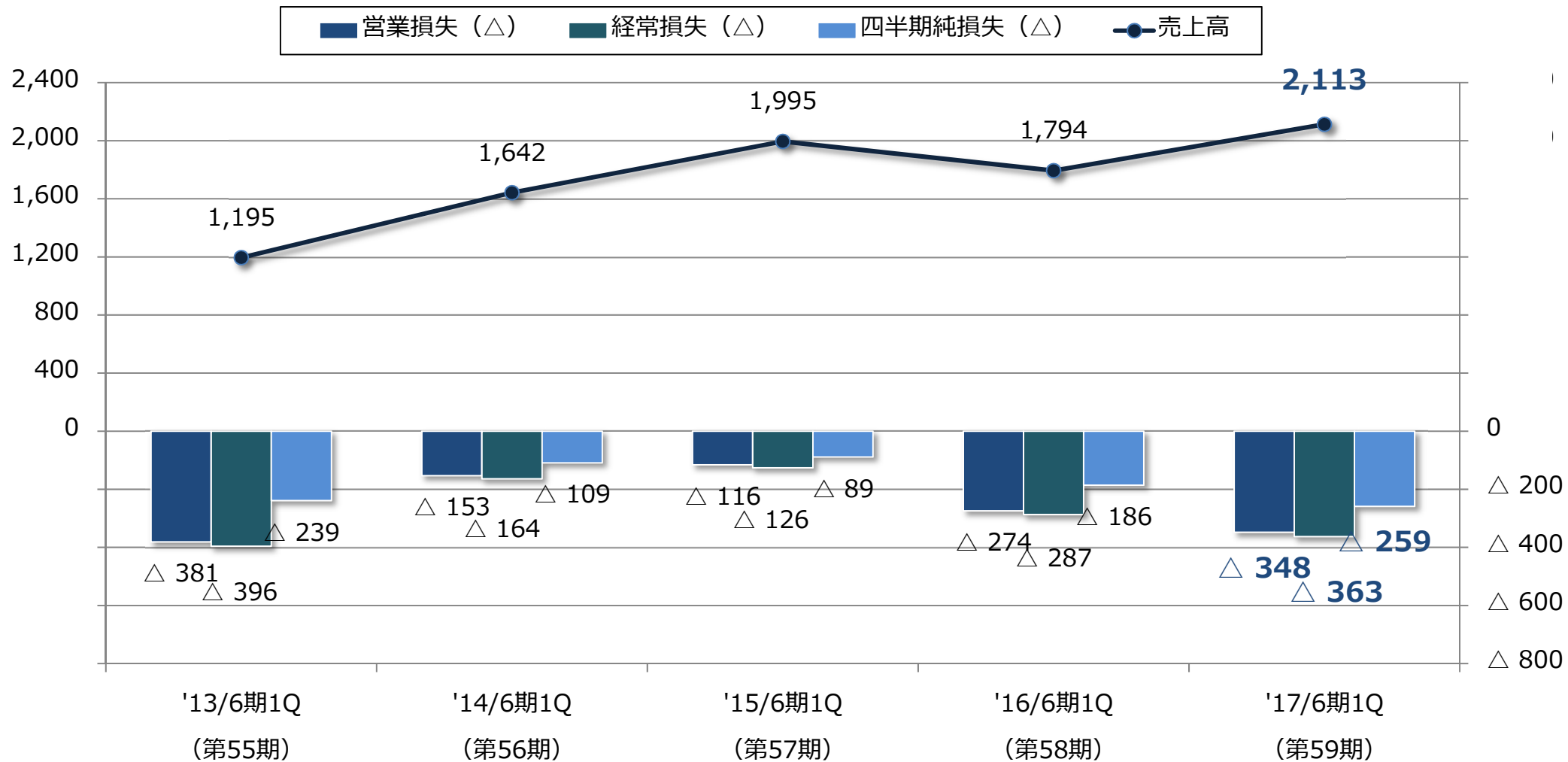
前年同期と比較して増収減益 受注残高は増加し事業活動は順調

(単位：百万円)

	'15/6期 1Q (第57期)	'16/6期 1Q (第58期)	'17/6期 1Q (第59期)	対前年同期 増減額 (増減率)
売上高	1,995	1,794	2,113	318 (17.8%)
営業損失(△)	△116	△274	△ 348	△ 74 (-)
経常損失(△)	△126	△287	△ 363	△ 75 (-)
四半期純損失(△)	△89	△186	△ 259	△ 72 (-)
受注残高	4,827	5,464	5,671	206 (3.8%)



第1四半期業績の推移



損益計算書ハイライト

(単位：百万円)

	'16/6期 1Q (第58期)	'17/6期 1Q (第59期)	対前年同期 増減額
売上高	1,794	2,113	318
売上原価	1,081	1,372	290
売上総利益	713	741	27
販売費及び一般管理費	988	1,090	101
営業損失 (△)	△274	△348	△74
営業外損益	△13	△14	△1
経常損失 (△)	△287	△363	△75
特別損益	2	-	△2
税引前四半期純損失 (△)	△285	△363	△78
法人税等	△98	△104	△5
四半期純損失 (△)	△186	△259	△72

貸借対照表ハイライト（前期末との比較）

（単位：百万円）

	'16/6期末 (第58期)	'17/6期 1Q (第59期)	増減額
流動資産合計	3,532	3,422	△110
現金・預金	385	698	312
売上債権	1,402	744	△657
固定資産合計	6,927	7,164	236
有形固定資産	5,077	5,115	37
無形固定資産	313	459	145
資産合計	10,460	10,586	126

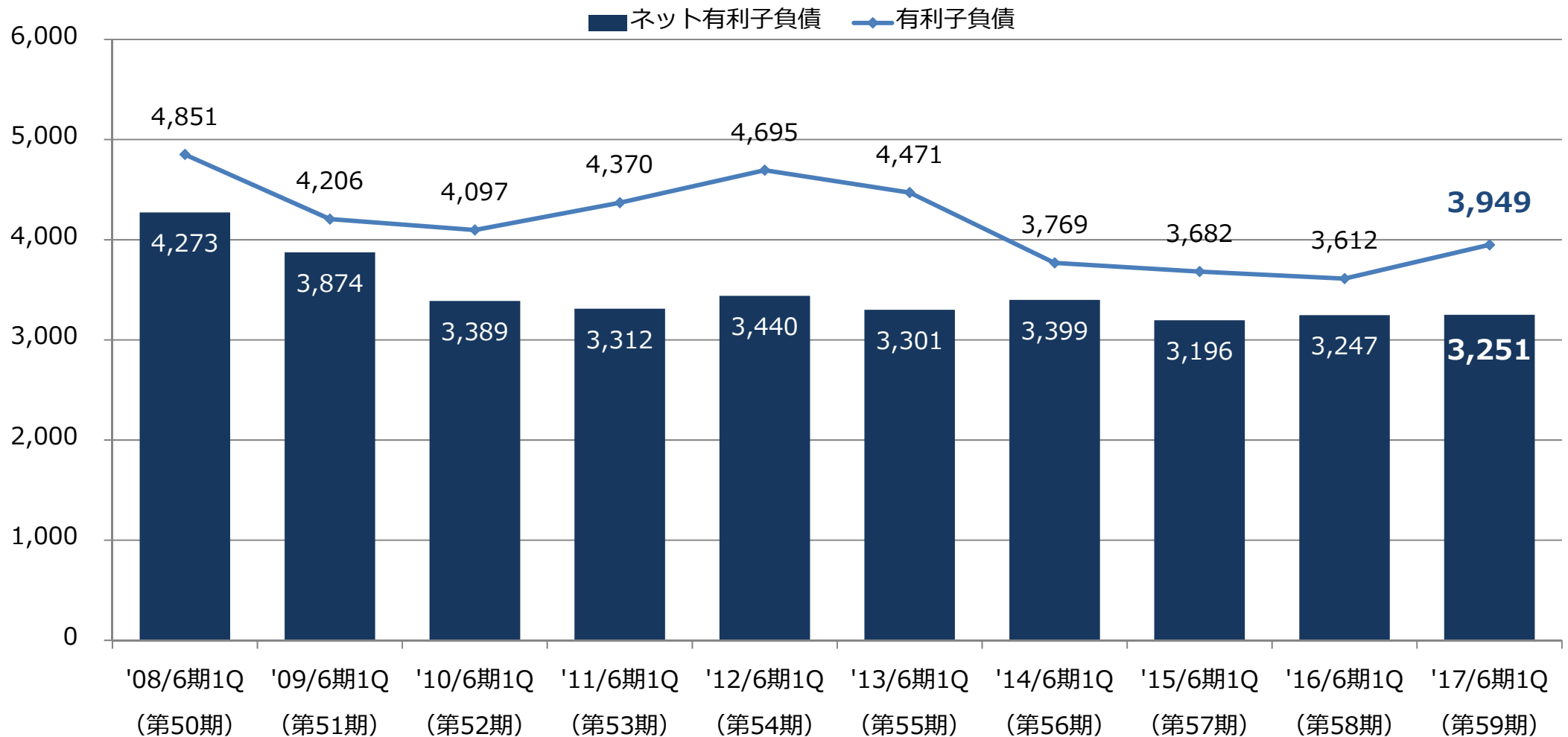
	'16/6期末 (第58期)	'17/6期 1Q (第59期)	増減額
負債合計	7,321	7,830	509
流動負債	3,713	4,320	607
短期借入金※	1,193	2,381	1,187
固定負債	3,607	3,510	△97
長期借入金	1,740	1,568	△172
純資産合計	3,139	2,756	△383
負債・純資産合計	10,460	10,586	126

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。



(参考) ネット有利子負債の推移

事業投資とのバランスを勘案したうえで 長期にわたり、財務を健全化



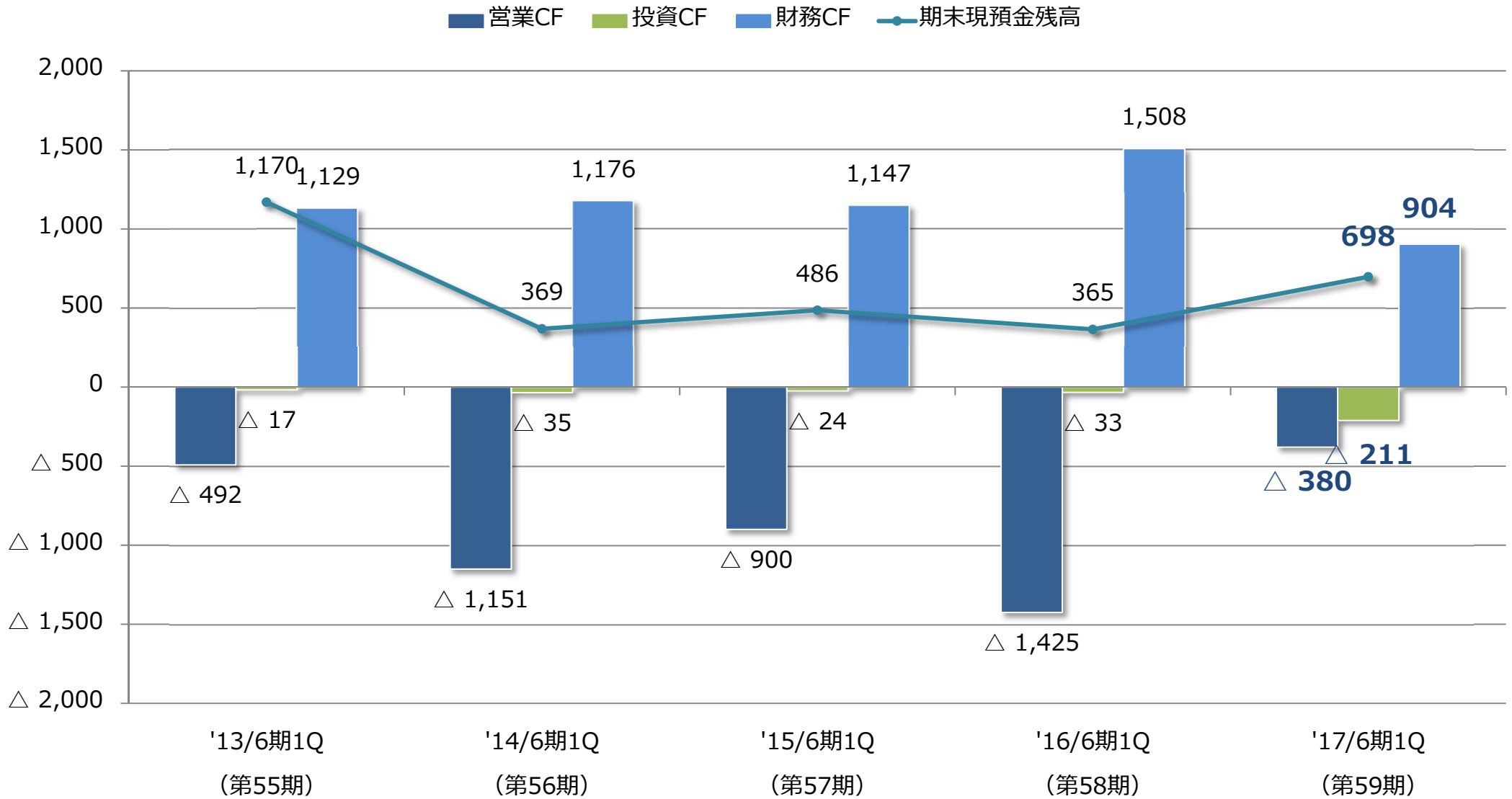
(参考) キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(単位：百万円)

	'16/6期 1Q (第58期)	'17/6期 1Q (第59期)
期首現預金残高	316	385
営業活動CF	△1,425	△380
投資活動CF	△33	△211
フリー・キャッシュ・フロー	△1,458	△591
財務活動CF	1,508	904
期末現預金残高	365	698

'17/6期 (第59期) 1Q キャッシュ・フローの主な内訳	
営業CF (△380百万円)	
・ 売上債権の減少額	750百万円
・ 未払費用の減少額	△579百万円
・ 税引前四半期純損失	△363百万円
投資CF (△211百万円)	
・ 無形固定資産の取得による支出	△167百万円
財務CF (904百万円)	
・ 短期借入金の純増	1,200百万円
・ 長期借入金の純減	△184百万円
・ 配当金の支払	△181百万円

(参考) 過去5年間のキャッシュ・フローの推移





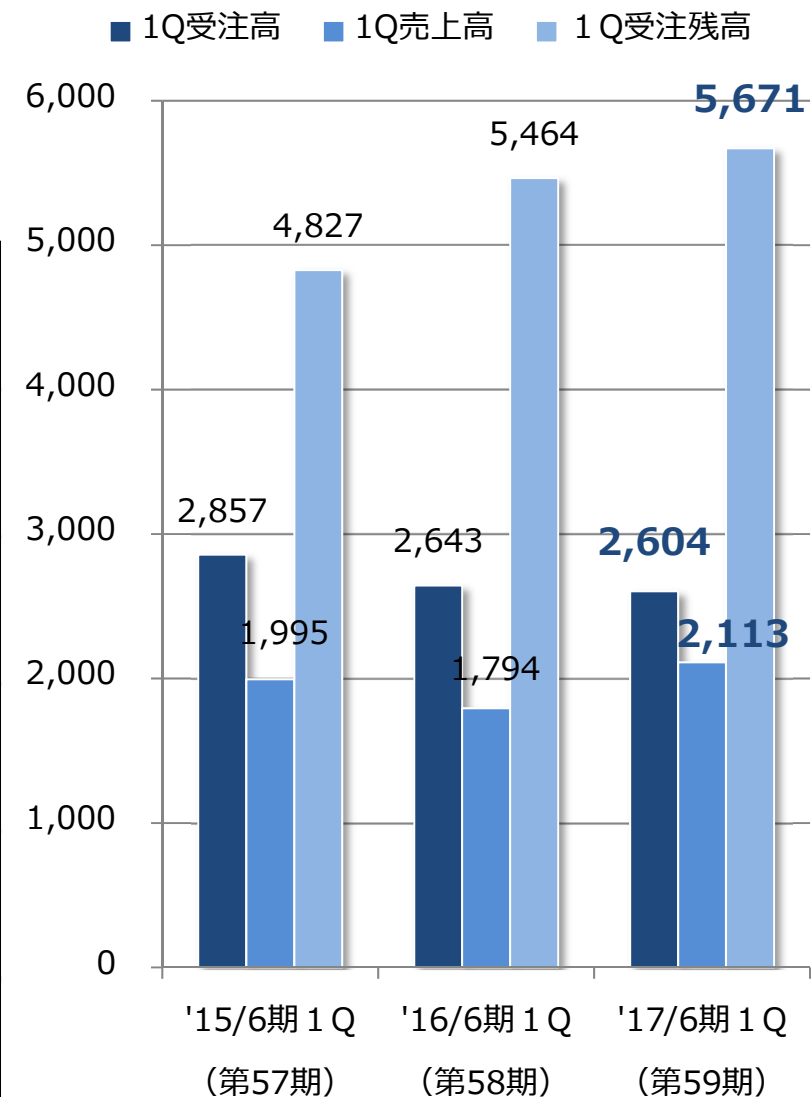
セグメント別状況

セグメント合計

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	'15/6期 1Q (第57期)	'16/6期 1Q (第58期)	'17/6期 1Q (第59期)	対前年同期 増減率
受 注 高	2,857	2,643	2,604	△1.5%
売 上 高	1,995	1,794	2,113	17.8%
セグメント利益 (利益率)	298 (15.0%)	167 (9.4%)	198 (9.4%)	18.1%
調 整 額 (一般管理費)	△414	△442	△ 546	—
営 業 利 益 (利益率)	△116 (△5.8%)	△274 (△15.3%)	△ 348 (△16.5%)	—
受 注 残 高	4,827	5,464	5,671	3.8%



①エンジニアリングコンサルティング

(単位：百万円)

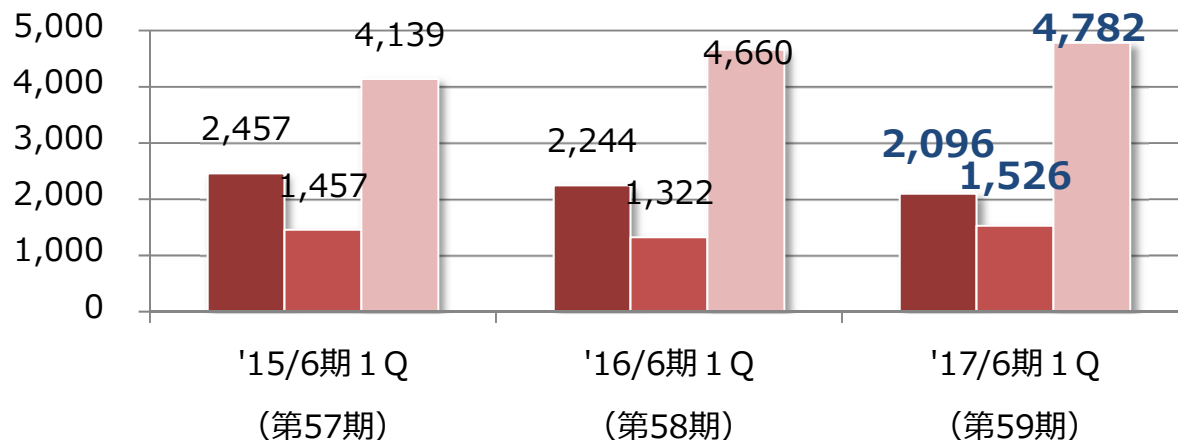
	'15/6期 1Q (第57期)	'16/6期 1Q (第58期)	'17/6期 1Q (第59期)	対前年同期 増減率
受注高	2,457	2,244	2,096	△6.6%
売上高	1,457	1,322	1,526	15.5%
売上総利益 (利益率)	590 (40.5%)	548 (41.5%)	507 (33.2%)	△7.5%
セグメント 利益 (利益率)	218 (15.0%)	85 (6.5%)	33 (2.2%)	△61.2%
受注残高	4,139	4,660	4,782	2.6%

- ◆ 防災・耐震・環境評価コンサルティング
- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ マーケティングコンサルティング
- ◆ 最適化・物流システム

業績分析

- 住宅業界をリードするトップ企業からの差別化に向けた投資に対応するシステム開発業務や構造設計コンサルティング業務が好調に推移
- 中期的な保全を考えた耐震改修、防災・減災のための解析業務が堅調に推移
- 売上計上された大型プロジェクトが不採算化

■ 1Q受注高 ■ 1Q売上高 ■ 1Q受注残高 (単位：百万円)

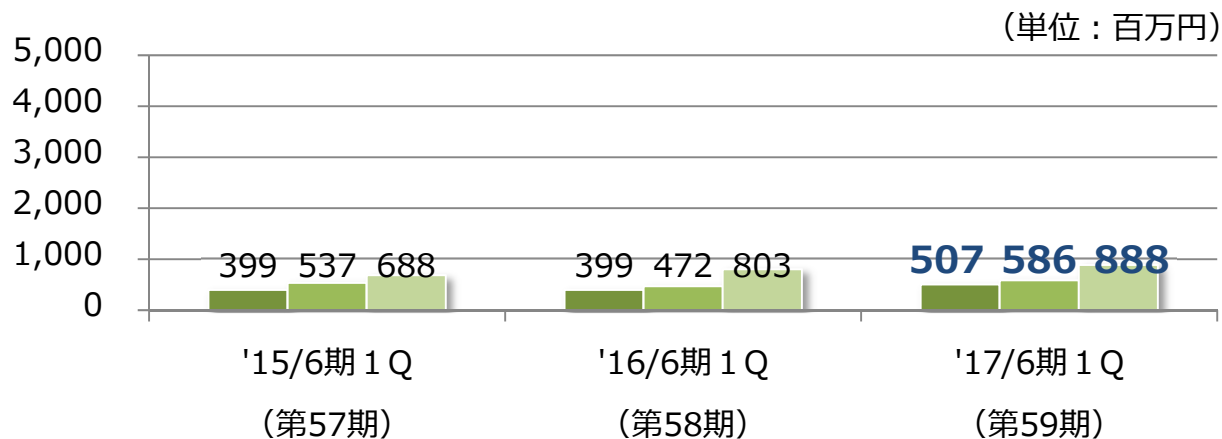


②プロダクツサービス

(単位：百万円)

	'15/6期 1Q (第57期)	'16/6期 1Q (第58期)	'17/6期 1Q (第59期)	対前年同期 増減率
受注高	399	399	507	27.2%
売上高	537	472	586	24.1%
売上総利益 (利益率)	236 (43.9%)	165 (35.0%)	234 (40.0%)	41.6%
セグメント 利益 (利益率)	80 (15.0%)	82 (17.5%)	165 (28.1%)	101.2%
受注残高	688	803	888	10.6%

■ 1Q受注高 ■ 1Q売上高 ■ 1Q受注残高



- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト
- ◆ 画像認識ソフト
- ◆ クラウドメールサービス
- ◆ 教育トレーニング

業績分析

- 設計者向けCAEソフト、統合型粒子法流体解析ソフト、リスクマネジメントソリューション、クラウドベースのメール配信サービスなどの販売が好調に推移



3

2017年6月期（第59期）の見通し



増収増益と配当増を目指す

(単位：百万円)

	'16/6期 (第58期)	'17/6期計画 (第59期)	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	10,947	11,500	552	5.0%
営業利益	1,007	1,100	92	9.2%
経常利益	943	1,040	96	10.3%
当期純利益	671	690	18	2.8%
配当金	@55円/株	@60円/株		



当社をめぐるステークホルダーへの対応





当社が目標とする経営指標

- 事業本来の収益力を表す **営業利益** の重視
+
人材を成長の源泉と考え、優秀な人材を確保するための **人件費およびフリンジベネフィット**

= **総付加価値**

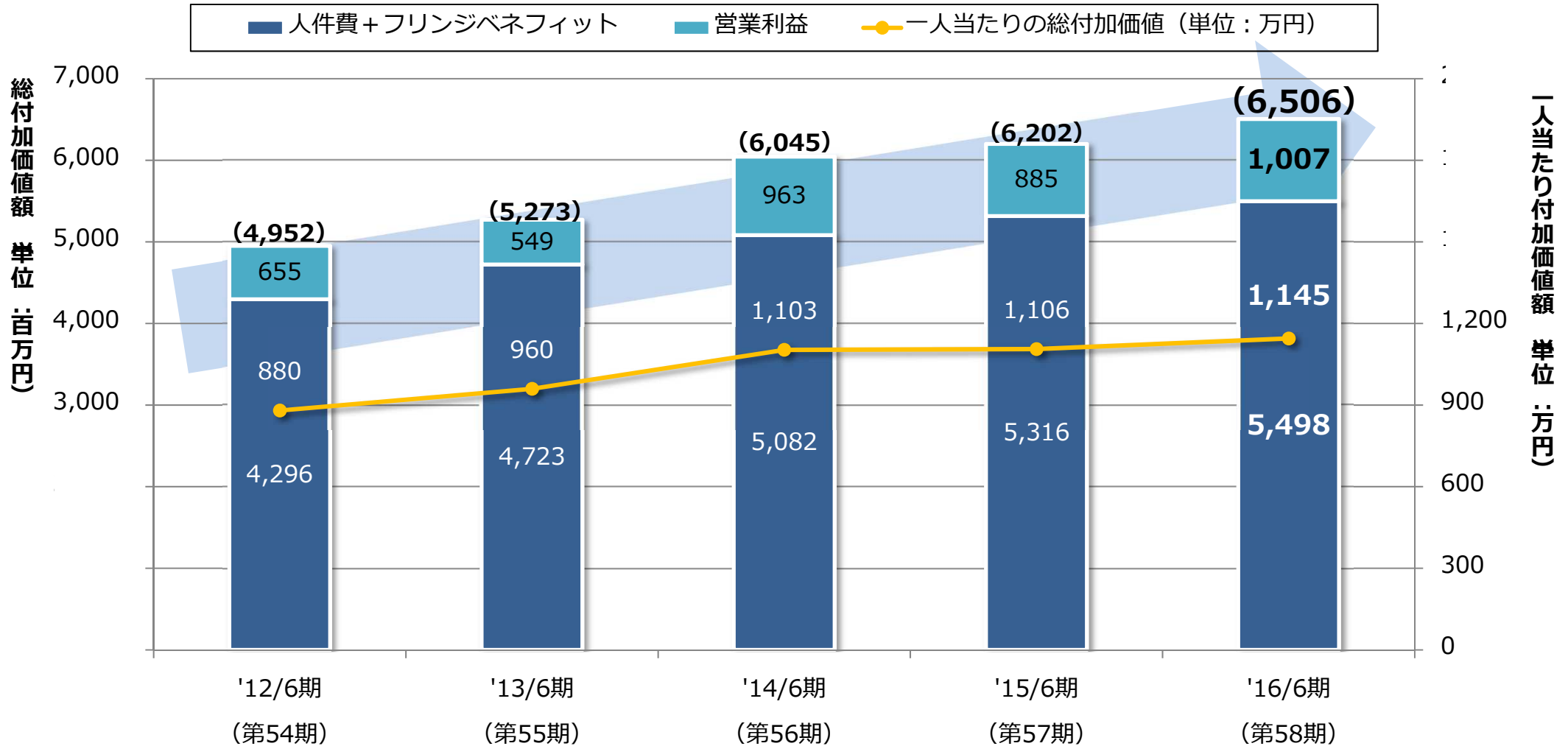
総付加価値を向上させることで企業として持続可能な発展を続ける
2016年6月期の総付加価値額は65億6百万円と過去最高
(2015年6月期は62億2百万円)

- **将来に向けた事業投資とのバランスを勘案** した
期末ネット有利子負債の考慮
- 高い利益率と有効な投資による **ROE** の向上
- 中長期保有株主に対する継続的安定 **配当政策** の推進



総付加価値額の推移

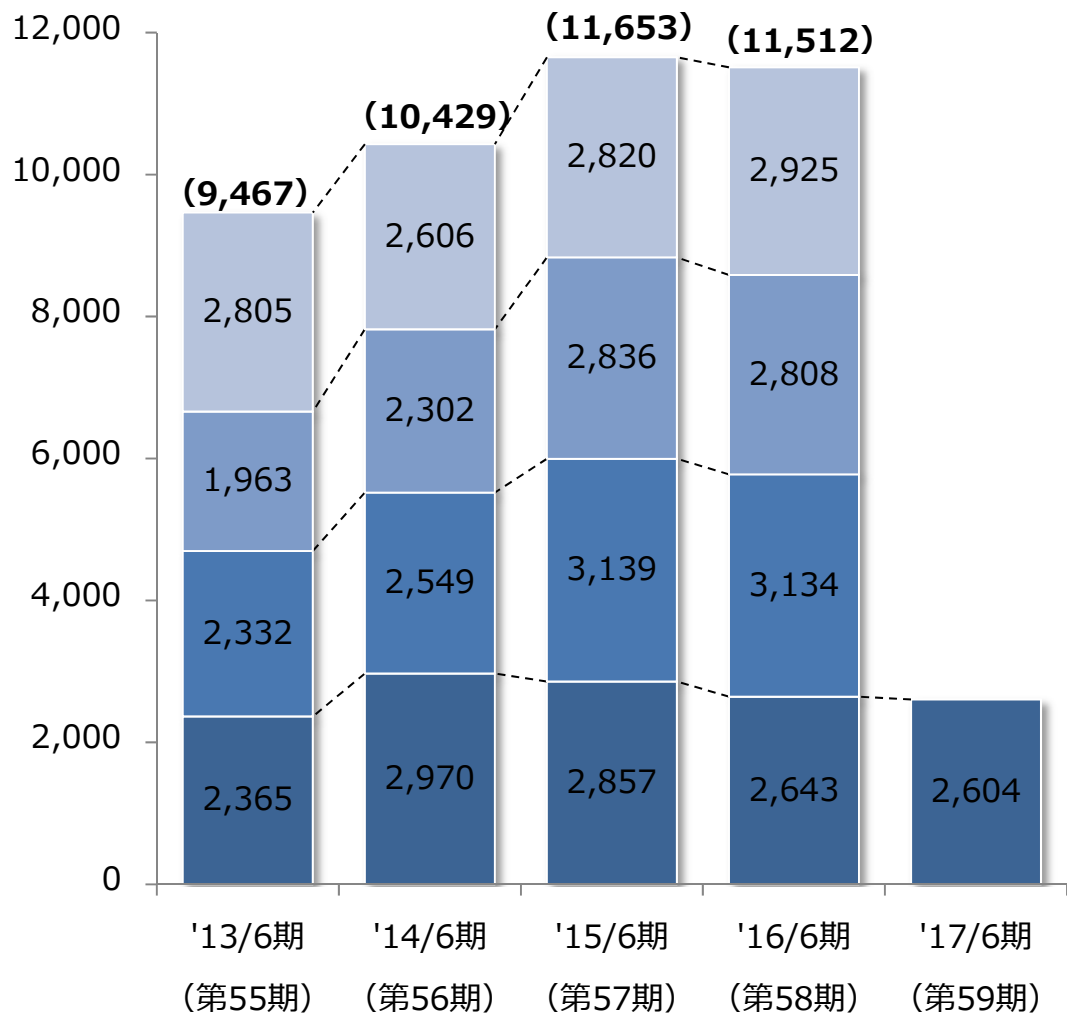
年率7%程度の総付加価値成長を目指す



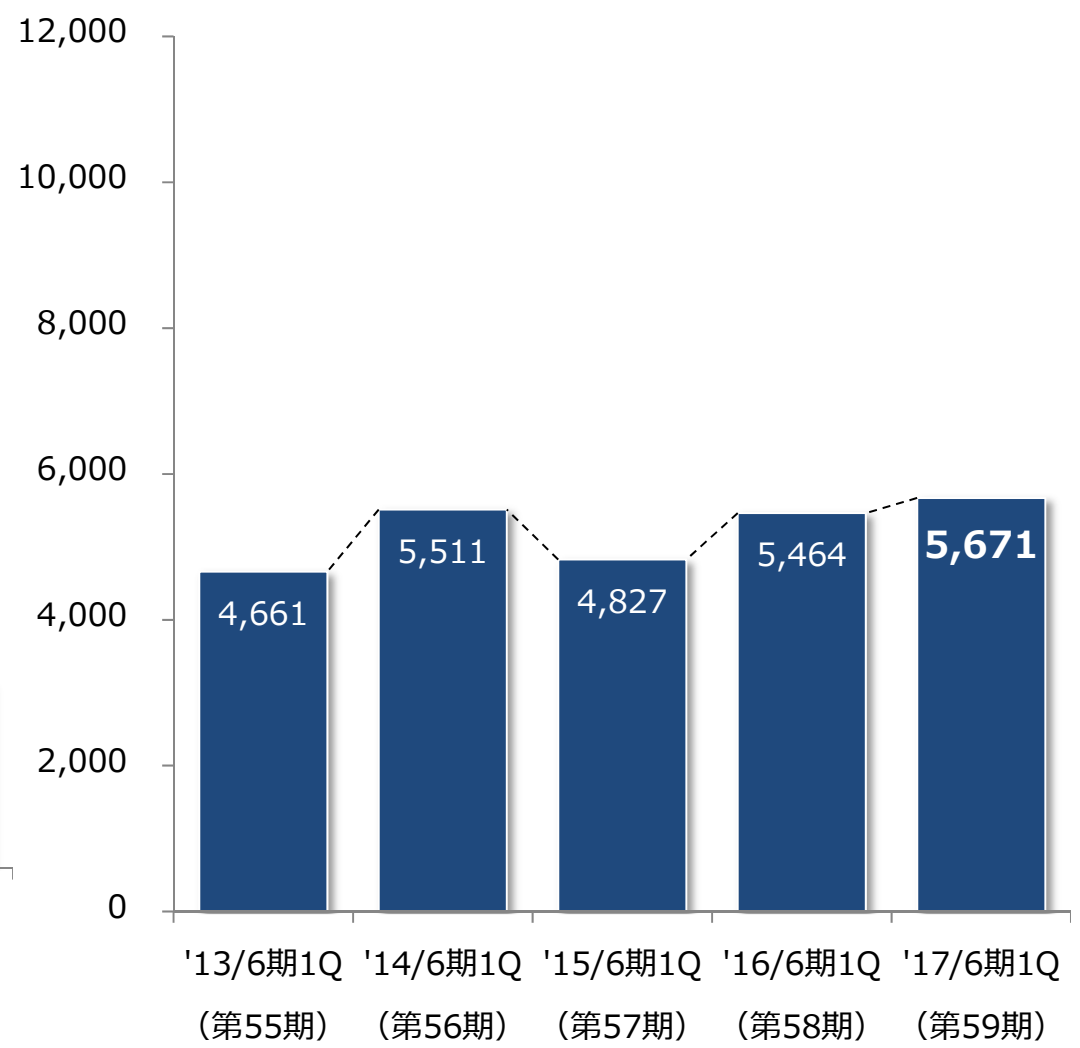


受注高実績と期末繰越受注残高

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



受注高 (単位 : 百万円)

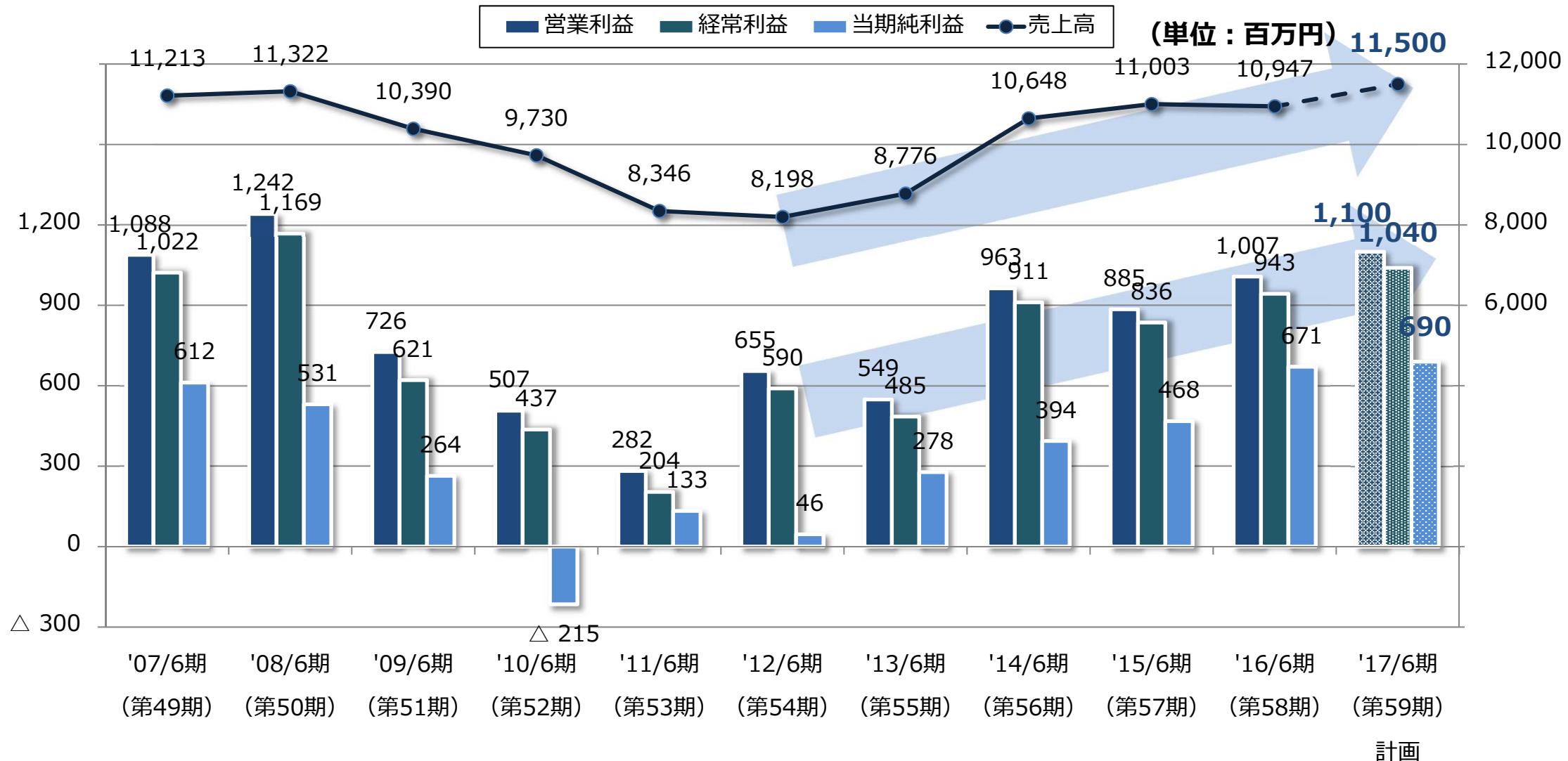


受注残高 (単位 : 百万円)



過去の業績推移と業績予想

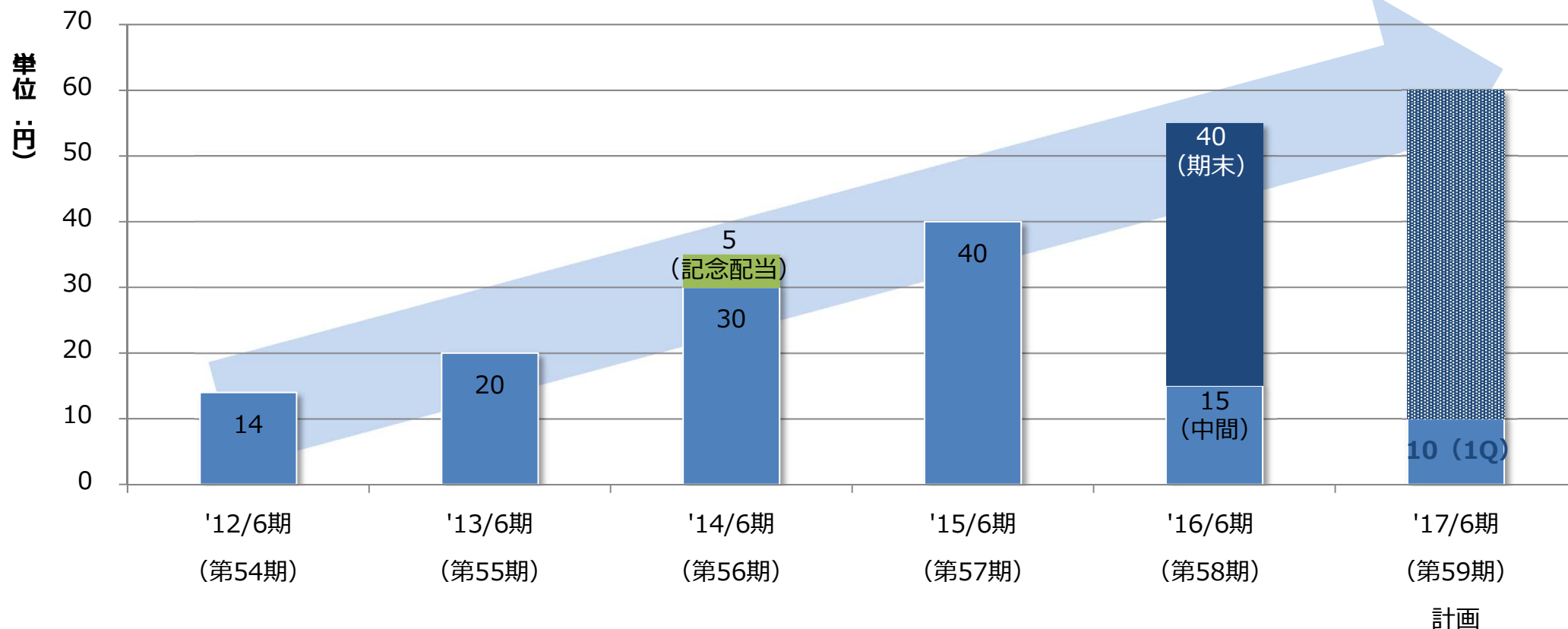
高繰越受注残高による良好なスタートで5期連続の増収増益達成へ





一株当たり配当金の計画

5期連続増配を目指す
適切な内部留保と事業投資状況を勘案しながら
中長期保有株主への利益還元を重視



当期より四半期配当制度を導入 第1四半期配当は10円



九州および福岡圏での活動活性化

- 九州地区のマーケティング活動の発展および新規ビジネスの創出
- IoTビジネスの発信地としての役割



博多駅直結JRJP博多ビル



支社機能の強化

- 中部営業所から名古屋支社へ改名し、名古屋・大阪・福岡の各地方拠点を中心とした営業/マーケティング活動の活性化へ
- 各拠点におけるマネジメント機能を強化 地方と東京のつながりを強化



● KKE Vision 2016 FUKUOKA

- 開催日：2016年11月29日（火）
- 会場：グランドハイアット福岡
- 基調講演：
東京大学 生産技術研究所 教授
最先端数理モデル連携研究センター センター長
合原一幸氏
- 集客目標：400名



講演テーマ

- ✓ 安全・安心社会の実現
- ✓ 豊かな長寿社会に向けて
- ✓ 価値あるデータ活用
- ✓ サステナブル社会の実現
- ✓ 自然災害への備え

※テーマは今後変更の可能性がございます。予めご了承ください。



お問い合わせ先

今後とも当社を何卒よろしくお願い致します

【お問い合わせ先】

株式会社構造計画研究所
財務部(担当:小山、松本)

T E L : 03-5342-1142

F A X : 03-5342-1242

E-MAIL : ir@kke.co.jp

H. P. : <http://www.kke.co.jp>

Innovating for a Wise Future